

山王台だより 10月号



横浜市磯子区磯子5丁目2-1

TEL 045 (755) 1107

学びの土台

校長 志田 一彦

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から言われるように、朝夕はめっきりと涼しくなり、本格的な秋の訪れを感じる季節になってきました。

まもなく、前期の終業式を迎えますが、どの学年も学習や生活のまとめをすると共に、運動会に向けての練習に熱心に取り組んでいます。運動会当日は、子どもたちが学級や学年の枠を超えて、最後まで頑張る姿、一生懸命に取り組む姿を是非ご覧いただきたいと思います。

さて、世の中が急速に変化しており、子どもたちを取り巻く環境も多様化しています。学校教育の場も例外ではなく、子どもたちには社会の変化に対応する生き方が求められています。変化に柔軟に対応するためには、「変化しないもの、変化させてはいけないもの」に軸足を置き、しっかりとした土台を固めておく必要があると考えます。不確かな時代だからこそ、土台を大切にしなければならないと思うのです。

学校教育にも、それが当てはまると感じています。子どもたちに確かな学力を身に付けることは、いつの時代も変わらない私たちの願いです。そのためには、授業の中で基礎学力の定着を図ることは勿論ですが、土台の部分にも目を向けていくことが必要だと思っています。

私は、土台を「学習に取り組む際の集中力や意欲、粘り強さといった学習の基盤になるもの」と考えています。そして、その土台を支えるためには、十分に睡眠をとること、早寝早起きをすること、朝ご飯をしっかりと食べることなどの基本的な生活習慣がきちんと身に付いていること。合わせて、友達と協力する態度や辛いこと、苦しいことを乗り越えていこうとする逞しい心が育っていることも大切なことだと感じています。

これらは、単に学力を身に付けることだけではなく、教育の一番の目標である豊かな人間性を育てると共に、子どもたちの将来の可能性につながっていくものでもあります。

この「学びの土台」づくりに向けて、基本的な生活習慣の確実な定着や心の教育についても一層の取組をしていき、日々の教育活動の充実を図っていきたいと考えています。

今後も学校、家庭、地域が連携し合いながら「学びの土台」を築いていくことができたら幸いです。子どもたち一人ひとりがもっている「よさ」や「可能性」を引き出し、「夢」や「希望」につながる教育活動に向け、ベストを尽くしていきたいと思います。保護者、地域の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

運動会では、「学びの土台」に基づいた子どもたちの活躍を楽しみにしています。